



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和7年6月5日 No. 5
園長 安藤賢治

地域とともにある ~コミュニティ・スクール~

子どもは、未来への宝物！



■心と目を引く看板があったことが印象に残っています。
この地域の方々の思いがストレートに伝わってきます。
大人の誰もが抱く思いではないでしょうか。
親として、先生として、地域の一人として…。
ところで、子どもたち自身はどう感じているのでしょうか。
「宝もの?」「私たち(自分)が?」「地域のって?」
・・・日常生活では、特段 何も感じないでしょう。

▶子ども同士の世界だけでは広がることはないでしょうが、思いをもった大人と同じ時間を過ごせばいつもと違う刺激として伝わることでしょう。“みんなの宝もの” だよって。幼児期だから、同じ時間を過ごす “ふれあい” をきっかけにしたいと考えています。

→ **地域学校協働活動** (CSと一体的に推進)

みわっ子は 地域まちのみんなの 宝ものたからもの
三輪南青少年育成市民会館

◎西部幼稚園の計画 *福寿コミセン ふれあいあそびクラブ・社会福祉協議会 PTA 各種講師など

<p>【みんなでやろう~地域連携~】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも 苗植え、芋掘り ・夏まつり ・焼きいも会 ・もちつき会 ・お茶の会 ・福寿コミセンでの交流 (防災文化祭など) 等 	<p>【見守り~子育て支援~】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練 (命を守る・交通安全教室) ・園庭開放 ・子育てサロン ・家庭教育学級 ・幼小連携「接続」・交流 ・療育機関との交流 等 	<p>【バックアップ~環境整備~】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観 (保育を楽しむ日) (参観&お弁当) ・クリーン大作戦 <ul style="list-style-type: none"> ・テラス、側溝掃除 等 ・園内環境整備 ボランティア <ul style="list-style-type: none"> ・遊具修繕、ペンキ塗り
<p>← 地域の方と一緒に</p>	<p>← 幼稚園が主体となって</p>	<p>← 保護者と共に</p>

★「畑でつくろう」をメインに活動

＜さつまいもの苗植え＞(昨日 6/4 水)



「大きくな〜れ!」と元気を注入。



○今年は『紅ハルカ』と『金時』
地域の方との“ふれあい”で生まれる
プラスの効果を双方が実感しています。

地域の方も、毎回、楽しみにしてくださっています。「癒されるわぁ」
*心強い幼稚園の応援団

◆今年度の「西部幼稚園 コミュニティ・スクール」・・・園（学校）運営協議会・・・



- 会長：番 敏郎さん（有識者）
 委員：森 政子さん（元 園長）
 長島 秀賢さん（主任児童委員 市部会長）
 浅井 良隆さん（福寿町自治会 本郷地区長）
 岩佐 和子さん（民生委員児童委員協議会 副会長）
 浅井 康行さん（福寿コミセン館長）
 浅野 隆行さん（ // 副館長）
 岩田 睦巳さん（福寿小学校長）
 加納 麻理さん（西部幼稚園PTA会長）
 安藤 賢治（園長） 吉里 弥生（園長補佐）

<目的> 会則 第2条より

園運営協議会は、教育委員会及び園長の権限と責任の下、保護者及び地域住民の羽島市立西部幼稚園の運営への参画及び連携の強化を推進することにより、幼稚園、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって園運営の改善及び園児の健全育成に取り組むことを目的とする。

- 第一回（4/28月）
 「委嘱式」「園運営」「参観」
 第二回（10/25土）
 「運動会 観覧」「近況把握」
 第三回（2/24火）
 「園評価」「事業、会計報告」

* * * * *

令和4年度 **今年度より仲間入り!!** 羽島市教育委員会発行「コミュニティ・スクールだより」

皆さんに見守られ愛される幼稚園として
 福寿町本郷にある市内唯一の公立幼稚園で、園児は市内全域から通園しています。
 今年度から、本園もCSとして位置づけられました。これまで以上に、地域の方々とのふれあい活動を大切にしています。園の畑で作るサツマイモも、地域の方あつての活動です。
 ~明るく 元気で 夢いっぱい~

おもちゃつきと花もちづくり
 コミュニティ・スクールとして、活動を継続、発展させた初年度でした。地域の方に支えられての「餅つき」は、一緒になって楽しむ季節の行事です。声と手拍子で元気を送る幼児たちと張り切って餅つきされる地域の方々。ほほえましい光景が育ちにより刺激を生み出しています。子どもたちの成長を喜んでいただける交流が、コミュニティ・スクールにあります。

◎羽島市のコミュニティ・スクール「CS」は、小中学校においては、平成29年度からスタート。西部幼稚園は、令和4年度から位置づけました。
 ★こどもの成長を軸として、学校・家庭・地域社会が連携・協働し「地域とともにある学校」をめざしています。

令和5年度
園運営協議会より提言いただきました
 コミュニティ・スクールとして、2年目がスタートしています。運営協議会の皆様には、園経営方針を認めていただきました。「地域とのつながり」「地域に開かれた」「小学校との連携を大切に」など、大切なキーワードを確認できました。
 今年度も進めている地域の方との活動で、「みんなが笑顔に」なれることを願っています。

令和6年度
CSは、子どもたちの育ちにプラスしかない
 コミュニティ・スクールとして3年目、ますます各方面からの応援と支援を感じています。
 運営協議会の皆様からは「よい園だからそのよさを広めて」とエールをいただき、地域のふれあい遊びクラブの方々とは、畑や行事で一緒に触れ合ったりして、子どもながらに“生きている喜び”を感じ取っています。
 “楽しかった。また、明日も!”となる日々を願っています。

地域 + 保護者で ~広がる笑顔~
 今年も、地域の方の応援で季節の活動を彩ってきました。園児たちも地域の方に会えるのを楽しみにしています。今回、地域の方からの「保護者の方も一緒に」の声で、協同でのお餅つきとなりました。子どもたちと参加者の方々にも以上の笑顔が広がりました。
 集まる思いは、【未来への宝物=子どものために】です。はじける笑顔の子もたちに、コミュニティ・スクールの価値を感じています。

「いつものおじさん、おばさんと」
 地域の方々や活動を進めてきたら、「この前の人だ」「こんにちは」と触れ合いが深まっています。園児、園のためにと参集してくださる地域の方々の温かい思いが、活動を彩り生活空間を広げています。
 このような幼児期の体験は、他者との関わりを喜び（社会生活との関わり）や、一緒に協力する（協同性）などを育むきっかけにもなっていて、今後も大切に育んでいきます。

➤「地域とのつながり」をこれまで以上に大切にしつつ、こどもの成長を願うすべての大人が、「こどもは みんなの宝物の」だという意識を共有して、より良い環境・刺激を生み出していきます。